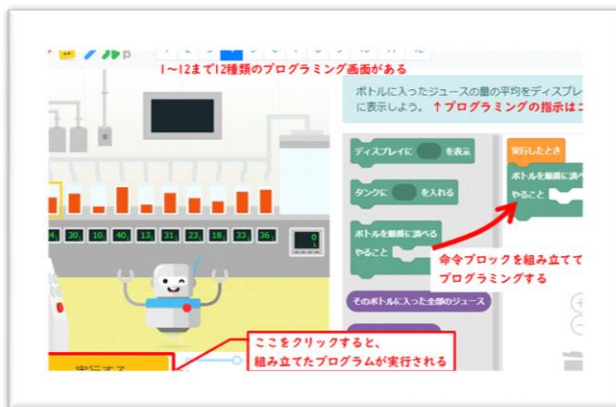


5年生 プログラミング学習

5年生は、総合の時間を使ってプログラミングに挑戦しています。2学期の取り組みについて、2つご紹介致します。

10月



算数の授業で「平均」を勉強した後、プログラムの「平均値コース」に挑戦しました。

iPad上の画面に現れたラボの機械を使って、色々なデータの平均値を求めています。

「お友達に教えることで、自分ももっと深く分かるようになる」ことをよく知っている清泉の子ども達ですが、プログラミングの授業でもそんな場面が多く見られました。



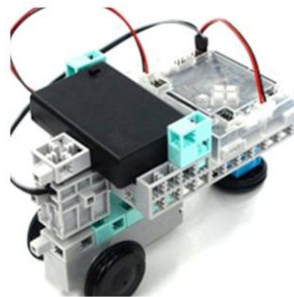
12月



一般のプログラミング教室などでもよく使われているアーテックロボを使って、ロボットプログラミングの授業をしました。

1回目は自動車の曲がる仕組みをプログラムしました。カーブを曲がり切れずにあさっての方向に逸れていってしまう車、壁にぶつかって転倒してしまう車など、子ども達は悪戦苦闘しながらもトライ&エラーを粘り強く続け、決められたコースを完走しました。

2回目は信号機作りです。タッチセンサーを用いた押しボタン式信号機や、ブザーも取り付けて音響付き信号機をプログラムしました。「将来、自分も信号機のプログラムを書いてみたい。」と日記に書く子どももいました。



身近な生活でコンピュータが使われるようになった今、子ども達はその仕組みを知ることが大切です。与えられたものや世の中にある便利なものを、ただ受け身で使うのではなく、プログラミングの学習を通して、コンピュータがどのように動いているのを知り、子ども達自身が「作り手」になれるという気付きを与えるのが、清泉小学校のプログラミング学習の目的です。